

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI



福まち通信

No.77 2015.1.20

菊水地区福祉のまち推進センター運営委員会

札幌市白石区菊水6条4丁目3-10

URL <http://www.kikusui-net.jp>



迎春

平成二十七年 新春



平成27年未年、皆様あけましておめでとうございます。

菊水地区福祉のまち推進センター運営委員会役員、委員の皆様方には平素からの活動に心から感謝と敬意を表します。福まちの事業も細野委員長の指導のもと、軌道に乗っておりますが、今一步のところとっております。高齢独居者への見守り活動マップの作成が、菊水全町内会に設置され充実された連携作業と共に進められるよう、会合での対話を望んでおります。今年も、福祉に始まり福祉に終わる一年としてゆきたいと考えております。「向こう三軒両どなり」は今の福祉活動の原点とっており、肩に力を入れずに対話を進めたいと考えているところです。皆様方の一層のご協力・ご支援をお願い申し上げますと共に今年一年が幸多い年でありますようにご祈念申し上げます。

菊水地区社会福祉協議会 会長 高橋 直利



日々の健康に感謝し、仲間とのふれあいを大切に。



高齢者健康増進フェア(菊水地区会館)



菊水社会福祉協議会高橋会長の挨拶



菊水地区高齢者健康増進フェア



札幌市芸術赤十字奉仕団の熱演



受付

平成26年度の「菊水地区高齢者健康増進フェア」は、今回は午前中のみ開催となりましたが、菊水地区にお住まいのお年寄り72名とボランティアスタッフ40余名が参加し、11月14日(金)午前10時から菊水地区会館で開催されました。

今年度新たに就任された高橋直利菊水地区社会福祉協議会会長の挨拶に引き続き、恒例の「菊水劇団」による寸劇「菊子さん認知症になる?」が始まりました。少し物忘れがひどくなった菊子さんを心配した近所のお仲間や包括支援センター・民生委員さんのサポートで、みるみる元気になっていく菊子さん、笑いの中にも現実味溢れる話題に、いつもの劇団の皆さんの熱演も相まって、聴衆の皆

さんも思わず舞台上に引き込まれておりました。最後にユーモアあふれる出演者の自己紹介とそれを称える大きな拍手で寸劇のコーナーは終了いたしました。次回はどんな話題を提供してくれるのでしょうか?楽しみですね。

寸劇のあとは「札幌市芸術赤十字奉仕団」による腹話術や民謡・歌謡ショーなどで楽しい時間を過ごし、最後はたくさんのおみやげを手に会場を後にしました。

この催しは夏に開催される「高齢者ふれあい交流会」と並ぶ福まち活動の二大イベントです。日々の健康に感謝し、仲間とふれあい交流する機会をより有意義なものにしたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をこれからもよろしくお願致します。

会館を練習会場に活動している「民謡 白友会(写真左)」が出演。このコンサートの呼びかけ団体であるママさんコーラス「baumクーヘン」が最終ステージを飾り、「歌えパンパン」と「今日の日はさよなら」の2曲を聴衆の皆さんと大きな声と一緒に歌い、演奏会を終えました。

今回は女声・男声・混声のそれぞれの合唱と民謡というバラエティーに富んだプログラムでしたが、器楽演奏や子どもさんの団体の参加など、次回以降、更に内容の充実した企画が期待されます。



この日は前日からの悪天候で参加者の大幅な減少が心配されましたが、会場には元気な子どもたちの声であふれ、参加したお年寄りもチームを作り、ミニボーリングや輪投げ、手芸や折り紙コーナーなどいつもの微笑ましい交流風景が展開されました。



お楽しみのおいしいカレーライスやおやつ等の昼食の後は「やよい児童会館」や「東橋」「幌東」の各小学校ミニ児童会館の皆さんによるコントやハンドベル、よさこいの元気な出し物がありました。最後は「コーラスどんぐり」による合唱と手話を交えた歌などで大



見守り・訪問活動の輪を広げよう



福まち推進センター活動報告会(白石区民センター)



平成26年度白石区・地区福まち推進センター活動交換会は、「見守り・訪問活動の輪を広げよう」と題して、平成26年12月19日(金)白石区民センターで約140名の方の出席を得て開催、菊水地区からは20名の方が出席されました。

活動発表として

①北白石地区「北郷瑞穂町内会」小池会長から「見守り活動の報告」

②白石東地区「栄自治会」蛸崎会長から「見守り活動の活性化を図るため栄自治会の福祉推進委員会の取り組みについて」の説明がありました。

特に、北白石地区では見守り活動は平成25年12月ごろより準備が始まり、平成26年3月～8月の6ヶ月間で、町内会・福まち・民児協の協力で研修会・福祉推進委員

会等を開催し、80歳以上の世帯及び特別見守りの必要がある世帯を選出し、「見守り活動(訪問)」を開始しました。

短期間で活動開始ができたことは、菊水地区としても今後の活動の参考になると思われます。

活動発表後、参加者が12チームに分かれて

①現在、「見守り」の取り組みの現状はどのようになっているか?②その中での具体的な課題点や疑問点等は、どんなことか?③今後の取り組みをどのように進めるか?

についてグループ討議をおこない、5チームからの発表がありました。

参加者は、それぞれのグループで、他地域の状況が分かり今後の活動の参考になりました。

尚、グループ討議のまとめは後日、白石社協より関係各位に配布されますので活用ください。

福まちの今後の活動について

菊水地区社会福祉協議会主催による、「安心・安全なみやまづくり」を求められている現状を踏まえ、「きめ細やかな見守り活動」を推進するため、各町内会長に対して平成26年11月～12月にかけて説明会を開催しました。今後

の、町内会活動の糧となれば幸いです。

また、今年度第2回の「福まち研修会」が2月27日(金)午後1時から2時30分まで、菊水地区会館において開催されます。詳しい内容は改めてご案内いたしますが、熱心な議論が期待されます。

菊水「まち」の風景

■菊水ふれあい音楽祭

第3回「菊水ふれあい音楽祭」

は平成26年10月25日午後1時から菊水地区会館に於いて開催されました。今年は第1回に引き続き「小樽商科大学グリークラブOB会」が参加され、なかなか聴く機会の少ない力強い男声合唱を披露していただきました。また、新しい団体として、「コーラスどんぐり(混声合唱;写真右)」と地区



老人クラブ連絡協議会

(菊老協)主催による新年会が開催されました。会場には70名を超える会員が参加、舞踊やカラオケで賑やかなひとときを過ごしました。菊連協高橋会長は8日・9日・10日、と3日間連続で冒頭の挨拶を務められ、今年で90歳を迎えられるとのこと、その元気なお姿がこの日も大変際立っておられました。

■白石区成人の集い

1月12日は成人の日、札幌市内各区で成人式が行われましたが、白石区では札幌コンベンションセンターにおいて約1,000名の新成人が参加し華やかに成人式の行事が行われました。



いに盛り上がり、フィナーレとなりました。荒天の中、前日から料理の準備や会場設営・おみやげのセッティング等にご奉仕いただきましたスタッフの皆さん、大変ありがとうございました

■新年互礼会

翌、1月9日(金)には同じく菊水地区会館に於いて、菊水町内会連絡協議会主催「菊水地区新年互礼会」が各連合町内会の役員の方皆さん、地区内小中学校の校長先生・各関係団体の役員の方皆さんが顔を揃え、更に白石区長も出席され、盛大に開催されました。会を主管された東連合町内会の皆様、大変お疲れ様でした。

■菊老協新年会

更に、1月10日(土)午前11時から菊水地区会館2階ホールに於いて、菊水・菊の里・東札幌地区



菊水地区子育てサロン 「クリスマス会」

昨年12月、菊水地区にある子育てサロンのクリスマス会が、悪天候で日程が繰延となるサロンもある中、各地で賑やかに開催されました。

また、今回は新たに勤医協札幌病院裏の菊水ビル3階会議室で行われている「ペンギんクラブ」さんにもお邪魔してきました。

それぞれ運営母体の異なる子育てサロンですが、どの会場にもお子さんたちの元気な声が溢れ、外の寒さを吹き飛ばす熱気でした



●12月19日(金)会場:上白石小学校



●12月9日(火)会場:菊水地区会館



●12月19日(金)会場:菊水ビル3階会議室



●12月25日(木)会場:菊水やよい児童会館

編集後記

明けましておめでとうございます

皆様ご健にて、輝かしい年明けををお迎えのこととお慶び申し上げます。

◆各種新年会などで菊水の1年は幕を開けました。成人式も悪天候には見舞われず、無事終了。1月31日(土)には、午前10時から幌東小学校グラウンドにて「第17回雪中運動会」が開催され、元気な子どもたちの歓声が菊水の空にこだますることでしょう。そして札幌の冬のメインイベント「第66回さっぽろ雪まつり」が大通公園を主会場に2月5日(木)から始まります。雪は例年に比べ多めですが比較的暖かな今年の冬、後半も穏やかに春を迎えたいものです。

◆次回の「よつクロ」は3月末の発行を予定しております。皆様の身近なコミュニケーションツールとしてお役にたてるよう、また羊の毛のようにほんわりとあったかな街の情報を伝えて参りたいと存じます。今年も相変わらずご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

